

# 図書館だより No.4

令和 5 年 7 月  
大洲中学校図書館

そろそろ



皆さん、こんにちは。早いものでもう7月ですね。あと三週間弱で夏休みです。約40日間の長〜いお休みとなります。でも、“休み”とは言っても何もしないで…って訳ではなく、“宿題”も出るのそんなに楽はしてられませんよね。私が中学生の時の夏休みはと申しますと、部活動で“郷土研究部”という部活に入っていて、その部活の夏休みの課題研究で、自分の住んでいる所（静岡県沼津市）の寺や神社に行き、その歴史について部員みんなで調べる…ということをやりました。もちろん普段教室で勉強している教科の宿題もあるので結構忙しかったですが、休み中も部活の仲間と一緒に掛けられたので楽しかったな。調べた事を市立図書館に皆で持ち寄ってさらに詳しく調べ、それを秋の文化祭で発表したりしていました。でも、一番楽しかったのは、文化祭で教室に展示することになった縄文時代の家（竪穴住居）の設計図をみんなで考えて、完成させたことかな。それから、名前は忘れてしまいましたが、大学の遺跡発掘調査のお手伝いで、人生初の発掘を経験したことです。小さかったけれど土器の破片を見つけた時はとても興奮しました。



長い夏休みですから、みんなも素敵な思い出をたくさん作ってくださいね。

## 新規購入本、ぞくぞく到着〜っ！ \ (^o^ ) /

今回到着した新規購入本の中で、二冊だけ説明させていただきますね。



### ・「ストロベリームーン」 芥川なお 著

高校の入学式に遅刻した佐藤日向は、なぜか積極的にアプローチしてくる萌と、なんと出会った初日につき合うことに。日向と萌はメッセージのやり取りやデートを重ね、好きな人と一緒に見ると永遠に結ばれる神話がある赤い満月「ストロベリームーン」を見に行く。そんな幸せな時間を過ごしていたのもつかの間、日向は萌の余命が少ないことを知る。自暴自棄になった日向は、萌の母親から萌の日記を渡される。2人を待ち受ける運命は如何に？日向と萌の純愛に涙が止まらない大号泣必至の1冊。【すばる舎 HP より】



### ・「保健室経由、かねやま本館。」 松素めぐり 著

学校に行きたくないけど、両親に心配されるから休みたくもない。中学生の佐藤まえみは葛藤しながら保健室に向かい、扉に手をかけようとした瞬間、「ちょっとちょっと、あんたはこっち！」と手招きしてきた不気味な白衣のオバさん・銀山先生に導かれ、怪しいと思いつつも保健室の隣の【第二保健室】で休むことに。その地下にあったのは、中学生専門の湯治場「かねやま本館」だった。かねやま本館で出会う子どもたちとの交流や、温泉での休憩を通し、自分自身の悩みに向き合っていく、心温まる物語。【講談社 Book 倶楽部 HP より】

7月7日から、恒例の“夏休み特別貸出”が始まります。今年も7冊までの貸出しが可能となりますので、またたくさん借りに来てくださいね〜っ(^ ^)/